

信頼できる情報を地域に届けるために ～報道機関が果たすべき役割

2025.11.21@ 総務省中国総合通信局

「SNS時代のICTリテラシー」向上セミナー



園部貴之 (メディア開発局 部長)

sonobe@chugoku-np.co.jp

(一社) 日本新聞協会

- ・メディア開発委員会専門部会副代表
 - ・プラットフォームプロジェクト第1分科会副座長
 - ・通信・放送メディアの将来像と法制度に関する研究会委員
- 地域新聞マルチメディア・ネットワーク協議会代表幹事
- (一社) 広島県情報産業協会理事

ウェブ解析士

HITひろしま観光大使

(公社) 土木学会正会員

中国新聞社とは

広島県全域および山口県東部を主な発行エリアとする新聞社
イベント開催、地域貢献サービスの展開などさまざまなことに取り組んでいます



創刊	1892（明治25）年5月5日
資本金	3億円
売上高	198億5000万円 (2024年12月期)
社員数	397人（2024年12月31日） 平均年齢44.9歳、勤続20.4年
発行部数	43万5417部 (2025年10月15日現在)
拠点	3本社、3支社、2総局、25支局

社是（Spirit）

中国新聞の公器としての使命を自覚し、
全社をあげての親和協力により、その向上発展を期するとともに、
世界平和の確立、民主国家の建設、地方文化の高揚に努力する。

地域情報の 圧倒的な質と量



地域コンテンツ サプライチェーン

- ①広島を中心とした取材網
- ②編集記者による現場力・取材力

(機能)

- 取材機能
- 編集機能
- 人的ネットワーク機能

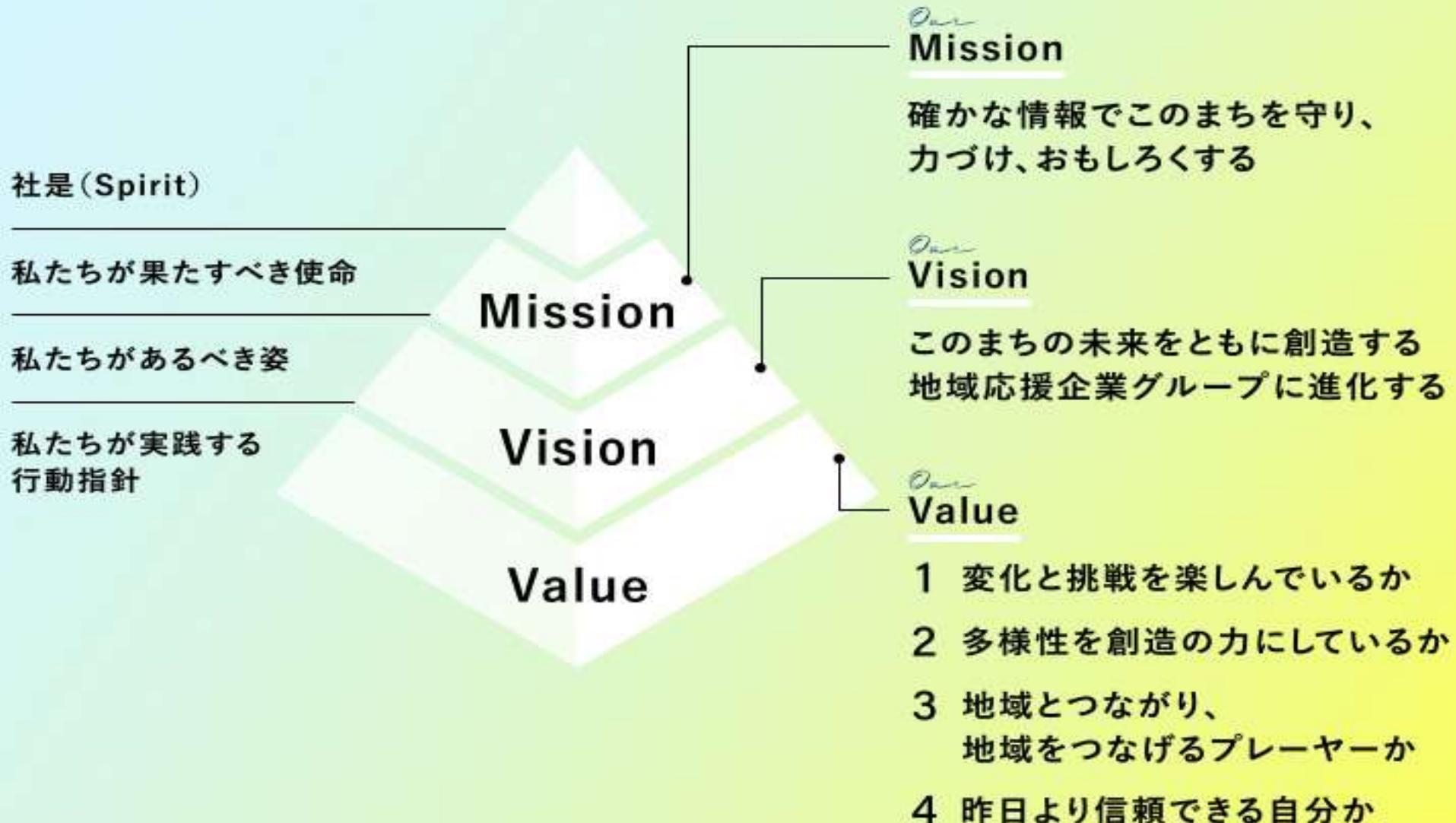
- ①広島を中心に張り巡らせた配達網
- ②印刷＆デジタル配信

(機能)

- 印刷・配信機能
- 配達機能
- 地域販売店機能

130年を超える報道による「メディアの信頼性」が土台

中国新聞社のミッション／ビジョン／バリュー



確かな情報でこのまちを守り、力づけ、おもしろくする

誤情報・偽情報



増えると大変

新聞社(報道機関)の仕事



正しい情報を社会に届ける

新聞づくりの流れ

①取材

②記事を書く



記者がインタビューしたり、現場に行ったりして取材したことを基に記事を書く

③ 編集会議

- 明日の新聞に載せるニュースを話し合う
- 大事なニュースは？ 価値判断する

米大統領は
トランプ氏に決定

中国文化賞の
表彰式を開催

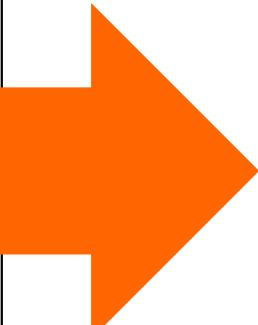
クマの出没が相次
ぎ、登下校に支障
がでている

カープが30連勝
で、首位を独走
しているね



④ 紙面づくり

- ・見出しつける
 - ・記事、写真のレイアウトを考える



⑤ 印刷

- ・広島県内の2カ所に印刷工場
- ・1分間に3000部印刷できる輪転機
- ・深夜から未明に印刷

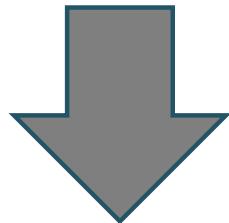


⑥配達

- ・バイクや自転車で1人100～150部配る
- ・中国新聞販売所は約400店

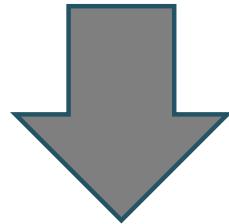


新聞が届くまでに
多くの人の目でチェック
ツールも活用



間違い、うその情報が
出ることを防ぐ

新聞が手元に届くまでには
時間も手間もかかる



正確、公平な情報を届け続けるには
多大な資金と資源が必要

偽・誤情報の氾濫、記事へのただ乗り、
誤った内容の生成物による信用毀損を
許せば報道体制の維持が困難
→ 知る権利や民主主義の危機

ファクトチェック

社会に広がっている情報や言説が事実に基づいているかどうかを調べ、そのプロセスを記事化して、正確な情報を人々と共有する営み

選挙情報とSNS

事实上に立脚し 積極的に報道

ファクトチェック紹介

新聞協会声明

に貢献するのが報道機関の責務だ」とする声明を発表した。確かな選挙情報の提供を積極的に進め、報道各紙が選挙報道原則の公表した選挙報道原則の統一見解を挙げ、①報道・評論の自由を公選法は大いに保障するが、その一方で公選法は、選挙の公正性を確保するための規制を設けている。選挙の公正性を確保するための規制を設けている。選挙の公正性を確保するための規制を設けている。

日本新聞協会は12日、
統一タイムズ(5220)など
のデーターベース上の権利・
権利は、従来の新聞・
通販・放送メディアの選
んで正しくなる
(25面に題名全文)
http://x.com/senkyo_kensyo

される懸念」を指摘。新聞協会加盟社は選挙報道原則の統一見解を踏まえ、「選挙報道の在り方を足元から見直し、国際的なファクトチェックの手法を参考しながら、有権者の判断に資する確かな情報を提供する報道を積み重ねていい」と

選挙報道 中国新聞社の指針

SNS時代 必要な情報を

SNSが選挙に与える影響や報道の役割をどう考えていくべきなのか、専修大の山田健太教授(65)と関西学院大の善教昭太教授(43)に聞いた。

山田健太 専修大教授 自制脱し真の公正報道

インターネット選舉の解説は2001年。SNSにてが世論や投票結果への影響は、今に始まつた話ではないが、ネット上の回収と投票は物が直結したのは昨年が初めての事態だらう。語焉なつたのが、東京都知事選や兵庫県知事選などでの、いわゆるインターネットエンサー系の政治家・候補者の台頭だ。

きっかけをついた（「N.T.K党」）は、立花季志氏が「選舉はもうかがる」と宣言しているようだ。今や選舉はヒラニスの舞台。参入者の多くは余命もかけたため、テーマやうそなど個別の上で自立情報を「切り抜き動画」などで発信する。話題や人々が「眞実」となった「眞理」として、自らに染み田じて投票行動に結びつくなつた。

これは新聞やテレビの情報が、十分に前情報を届いていない」との裏返しでもある。メディアは政府や政治家、読者からのクレームを恐れ、選舉報道

「おひこト黙黙だ」「公正」お題意図の面
してある。近年のSNSの活性化によって
つてそれが見通せぬれば、結構したく構
が去年表面化したとなる。
この流れは少しだけ心で感づいたのが、
SNS上で個別である情報を詮ねる興
味度が高まっている。報道機関や、報
導報道や、ファクトチェックに関する
声明を立て続けに公表している。見通
しがないようなテーマが拡散している
場合、それを打ち消すのは重要だ。た
だ、ファクトチェックがメディアの仕
事の「王道」かと思われれば疑問が残
る。

これまでの新聞報道は「政権交代か
ない政権的な話が中心だったが、有権
者が、より有益な情報を求めている。
例えば、選挙的失敗の理由を報道機
関に聞いて紙面に掲載してみるのもよ
いかもしない。具体的な投票行動に
つながる、必要かつ十分な情報を出し
続けることが報道における「公正」で
はないか。(聞き手は佐藤弘樹)

2025年7月2日付中国新聞朝刊

中国新聞社 SNS時代の選挙報道指針の策定（2025年7月）

中国新聞社

SNS時代の選挙報道の指針(要旨)

○選舉に関する報道の自由を保障して、公選法第140条をしっかりと踏襲し、UNESCOの時代にあっても国民の知る権利に応え、健全な民主主義を確立するため、有権者の選択に資する選挙報道を追求する。

○虚偽や不確かな情報で有権者の投票行動や選挙結果がゆがめられる事態が起きた際は、これを認識し、危機感を持って対応する。

○記者の安全を脅かすような行為には会社として毅然として対応し、記者を守る。

【選挙報道のあり方】

○公正な選挙に資する報道を確

持しつつ、看過でもない候補者側の問題行為や情報発信があった場合には、読者に伝えるべき情報については選挙期間中であっても積極的に報道していく。○虚偽情報についてファクトチェックして報道する重要性を認識する。虚偽情報の流布の度合いや公共の利害との関係性を勘案してファクトチェックすべき対象を判断する。

○有権者の知る権利や選挙の公正の観点を重視しながら、選挙活動の事態を踏まえ編集権に基づき候補の扱いを判断する。読者への説明が必要な場合は、積極的に説明する。

SNSの急速な普及に伴い、社会が大きく変化。人とのつながりが広がり、人生の選択肢が増えた一方で負の側面も。2013年にインターネット選挙が解禁されたが、近年の選挙では、候補者をおとしめたり、あたかも真実かのような情報が拡散されたりしたケースがある。それらが投票行動に与える影響は看過できない。

■中国新聞社「SNS時代の選挙報道の指針」

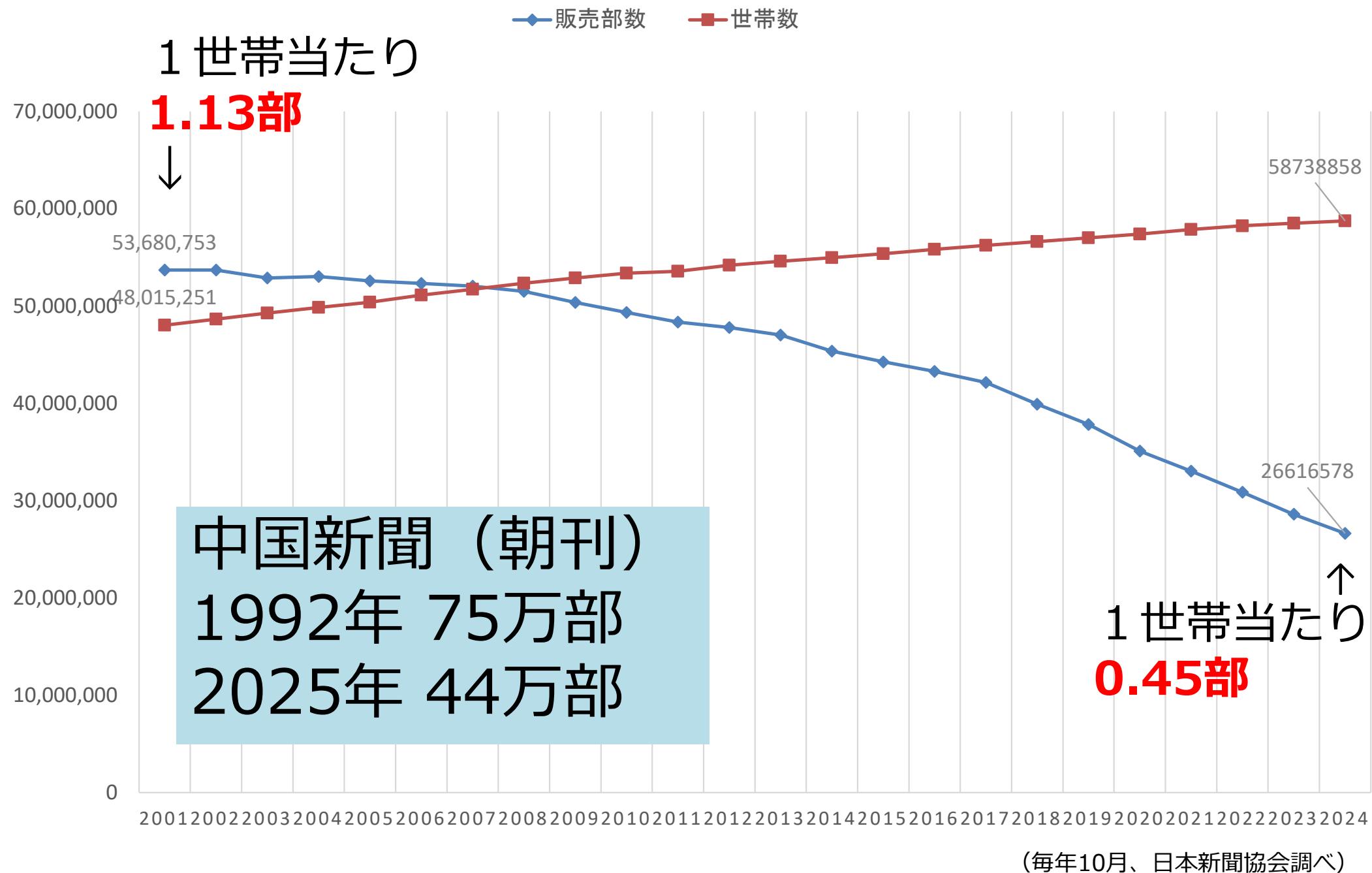
- ・公選法に照らし、これまで通り、有権者に有用な情報を公平公正に報道する。
 - ・投票行動に直結するような真偽不明の情報については、迅速に調べてその結果を報道する。

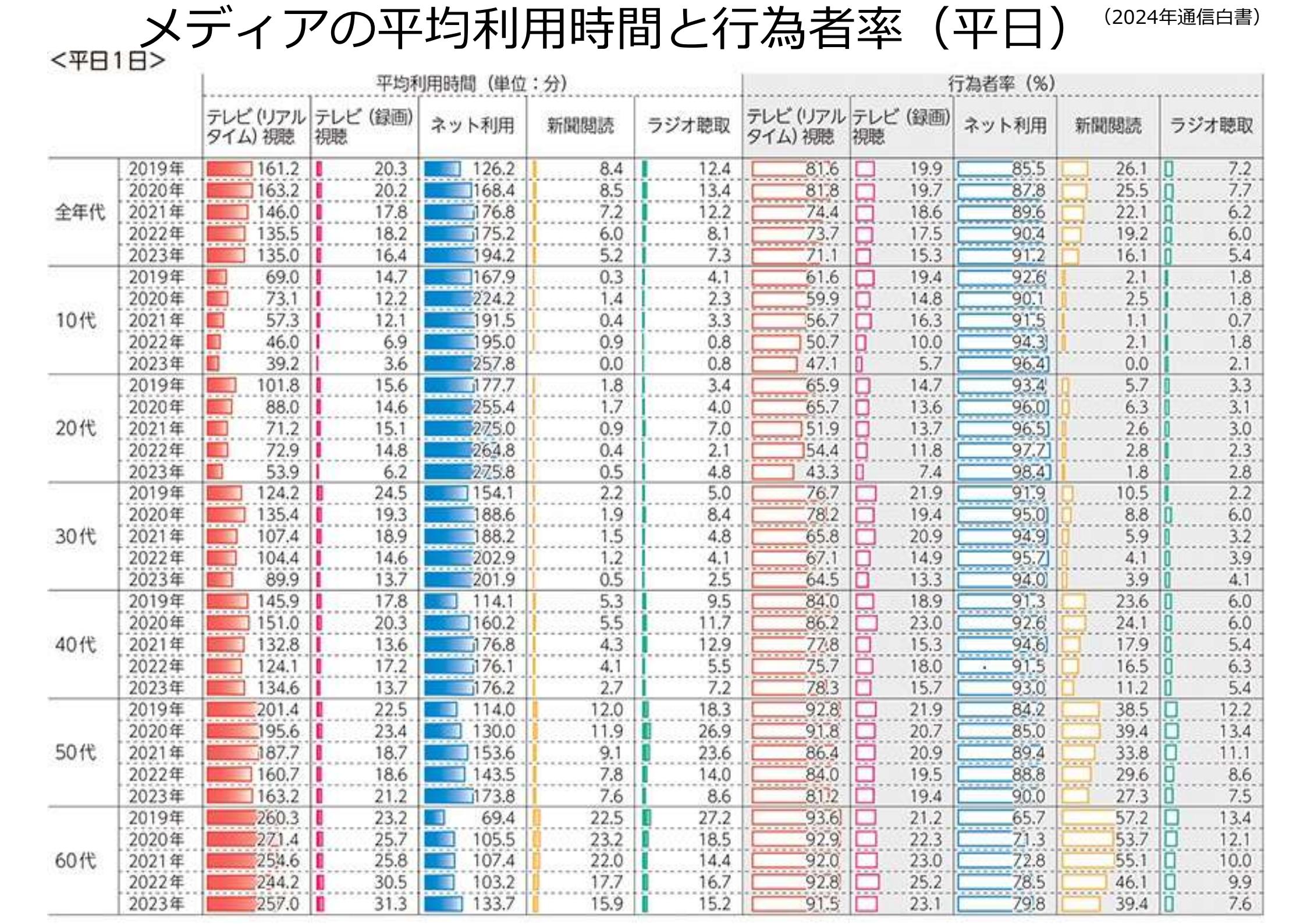
日本新聞協会の専用 インターネットと選挙報道を巡る

日本新聞協会の声明

ともに2025年7月2日付中国新聞朝刊

国内の新聞発行部数と世帯数の推移

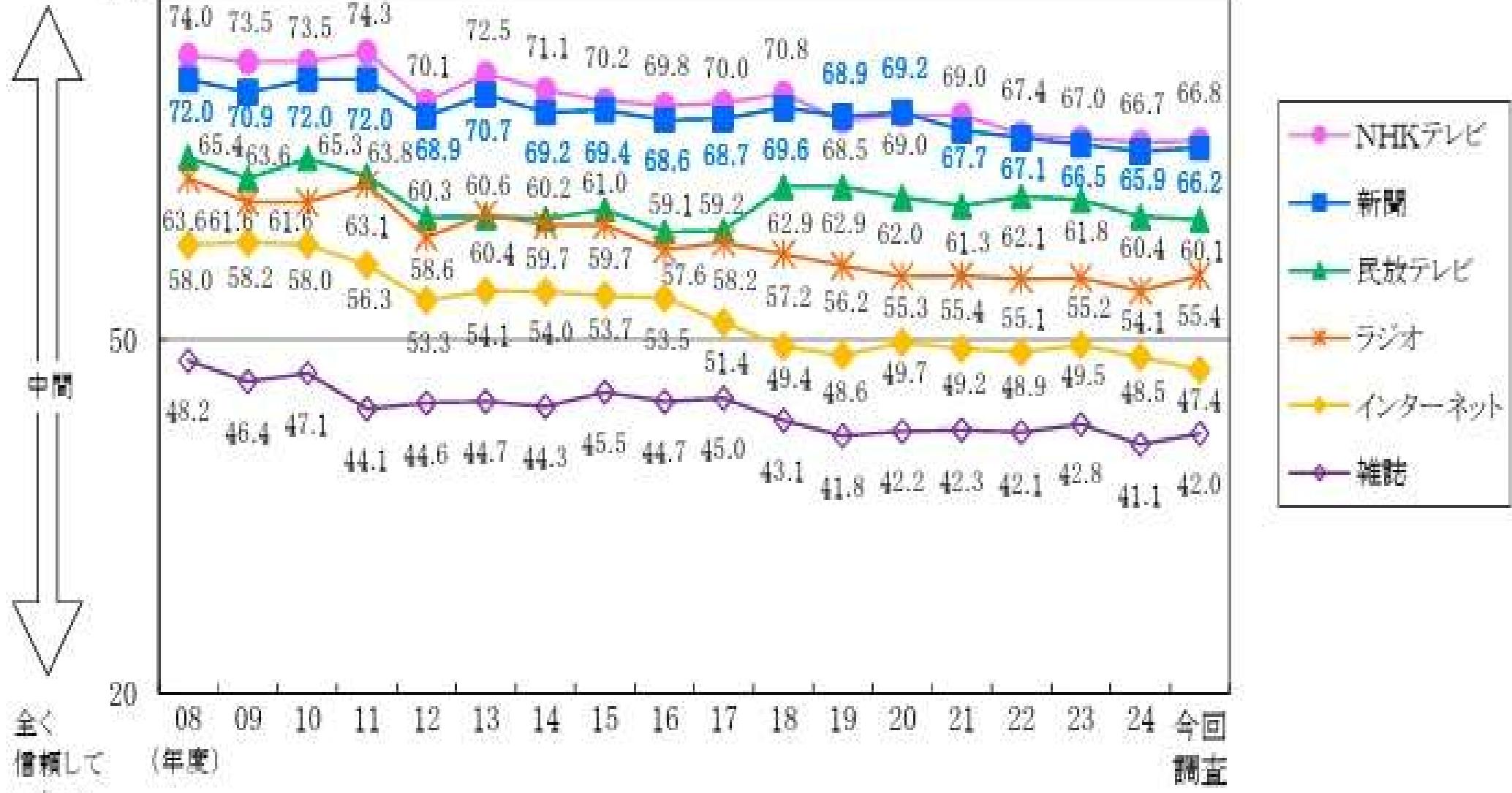




各メディアの情報信頼度

全面的に
信頼して
いる

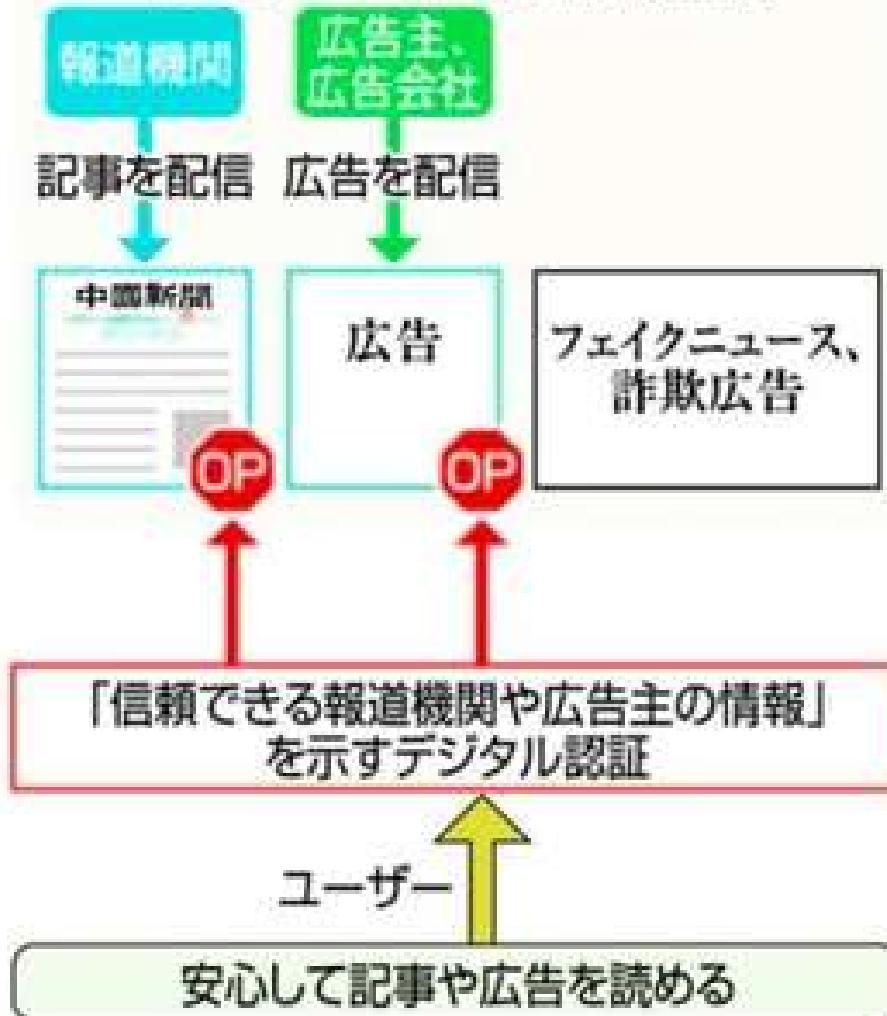
新聞情報の信頼度は依然として高い



公益財団法人新聞通信調査会:第18回メディアに関する全国世論調査(2025年)
調査対象:全国の18歳以上の5,000人

信頼をベースにした情報提供

オリジネーター・プロファイル(OP)
技術を利用した情報流通の仕組み
インターネット上の情報空間



ネット上の情報の真偽を分かりやすくする
「オリジネーター・プロファイル (OP)」技術

ブラウザ上で、記事や広告の発信者を表示

閲覧者は、第三者認証済みの良質な記事や広告を見分けることができるようになり、安心して閲覧できる

広告主は、アクセス数稼ぎの低品質サイトに広告が表示されるリスクを減らせる

情報発信元として高い信頼度があることを前提とした技術

信頼をベースにした情報提供



丈夫！

だから書ける地域情報を手早く見られます。仕事や子育て、就活に今日か

-スの表示をカスタマイズ。関心のあるニュースを確実にキャッチできま

画像はテスト表示したOPの画面。2026年には実装段階へ

信頼をベースにした広告提供

クオリティメディアコンソーシアムへの参画

- ・国内の有力メディア（下記の33媒体）だけで構成する広告配信プラットフォーム
- ・広告主は、安心安全かつ上質なコンテンツを擁するメディア限定で広告を掲載できる
- ・生活者とメディア双方に有益で、健全なインターネット環境の創出に寄与していく
- ・中国新聞社は、地方紙として他社に先駆けて加入



地方紙に求められる役割

地方紙

同じ所に長くとどまり、多くは自身も取材・販売先と同じ住民

取材スタイル＝継続報道



善き隣人

Good Neighbor

||

権力監視に加え、新しい概念

地域の課題解決に住民と一緒に汗をかくアクターへ

▼確かな情報でこのまちを守り、力づけ、おもしろくする

例) 地域の課題解決に住民と一緒に汗をかくアクターへ



「ポリ袋よく見掛ける。広島市内は紙袋では?」

こちら編集局です
あなたの
声
から

環境政策課
ごみを紙袋で
出している光景をよく見掛けます。広島市のルールに違反しているのでは?」

とのメールが編集局に届いた。市のホームページで確認すると「丈夫な紙袋に入れて出してください」とある。どうなっているのか。探ってみた。

「可燃ごみをポリ袋で出している光景をよく見掛けます。広島市のルールに違反しているのでは?」とのメールが編集局に届いた。市のホームページで確認すると「丈夫な紙袋に入れて出してください」とある。どうなっているのか。探ってみた。

(堅次亮平)

「真面目に紙袋で出している者からすると、おかしいなと思う。許されるのない私も、雨の日などは破れにくいポリ袋で出したい」。南区の会社員女性(40)は納得いかない様子だ。ごみ収集日に出向くと、確かに紙袋とポリ袋が混在していた。ほとんどのごみがポリ袋で出されている地区もあるではないか。みんなの外側を、透明なポリ袋で包んでいる。収集車が来ると、漏れなく回収されていった。ごみ

市が紙袋で可燃ごみを

スルルを定めたのは、

1976年。当時はビニ

袋を燃やすと有毒ガスが

が出ないポリ袋が普及。

内4工場の焼却炉はいま

も、紙袋とポリ袋の両方

燃やせるという。

「要望はない」

可燃ごみは「紙袋で出す」? 広島市の都市伝説=市民のお困りごとを 記者が調査

すなわち、ポリ袋での
境的な問題はクリアでき
いるという」とだ。「紙
に入れて出す」という
ルの根拠が揺らいでい
も言える。なのに、なぜ
は紙袋にこだわるのか。
環境政策課はこう説明

なぜ紙袋の外側
袋が許されるの
はこう説明する。
破れた時の散乱防
止もあるので、雨よ
の代わりだと解釈
す」。それなら、
ポリ袋でよい気も

ルールでは、市は
などをポリ袋で包
、紙袋に入れて出
るのか。「それ
は許容して出
るのか。」あらためて聞い

ますます混亂し
り、駄目だった
「紙袋で覆つて
もちろん違反」
使い方次第で
かりやすく理
内容であつてほ
り袋も自立つとい
そもそも、現状で
は違反ではないの
だ。「市民から、ポリ袋で
出している光景をよく見掛け
いため」
受け身の姿勢でい
面食らう。実際
り袋も自立つとい
と明かす。
市が紙袋で可燃ごみを
スルルを定めたのは、
1976年。当時はビニ
袋を燃やすと有毒ガスが
たり、高温で焼却炉を爆
発する恐れがあつた
だ。ただ、いまは有毒ガ
スが出ないポリ袋が普及。
内4工場の焼却炉はいま
も、紙袋とポリ袋の両方
燃やせるという。

第一課はこうたた
想外の答えが返っ
「紙袋をポリ袋で
OK。ルールには
側が紙袋」とまで
いないので」

た。「市民から、ポリ袋で

出している光景をよく見掛け
いため」
受け身の姿勢でい
面食らう。実際
り袋も自立つとい
と明かす。
市が紙袋で可燃ごみを
スルルを定めたのは、
1976年。当時はビニ
袋を燃やすと有毒ガスが
たり、高温で焼却炉を爆
発する恐れがあつた
だ。ただ、いまは有毒ガ
スが出ないポリ袋が普及。
内4工場の焼却炉はいま
も、紙袋とポリ袋の両方
燃やせるという。

ますます混亂し
り、駄目だった
「紙袋で覆つて
もちろん違反」
使い方次第で
かりやすく理
内容であつてほ
り袋も自立つとい
と明かす。
市が紙袋で可燃ごみを
スルルを定めたのは、
1976年。当時はビニ
袋を燃やすと有毒ガスが
たり、高温で焼却炉を爆
発する恐れがあつた
だ。ただ、いまは有毒ガ
スが出ないポリ袋が普及。
内4工場の焼却炉はいま
も、紙袋とポリ袋の両方
燃やせるという。

可燃ごみルール曖昧

例) 地域の課題解決に住民と一緒に汗をかくアクターへ

可燃ごみ、
ポリ袋OK

広島市方針 原則細袋を変更

庄原市が家庭の口燃ごみの出し方について、紙袋に入れて出すルールを変更し、紙袋とボリ袋いずれでもいいとする方針を固めたことが20日、分かった。ボリ袋でも衛生面を考慮して収集するケースがあり、原則を守っている市民から苦情が出ていた。1976年6月に定めて以降、初の見直し。近くホームページや庄原紙などで周知を始める。

ルールは、市一般廃棄原則としている。市によると近年、雨物処理実施計画に基づいて決めていた。現在、の日にごみを入れた収集場所に「丈夫な紙袋」とボリ袋に入れて決めていた。現在、の日にごみを入れた

れたり汁が出る生みをポリ袋に包んだ後、紙袋るケースこうした例外的生面からい」とじる。また、な当初はくと焼却になつてつたが、

した声が大切

春起の抑止力

2018年11月21日付中国新聞朝刊



144

「やるじゃん!!中国新聞」。こうした声が大切
市民をメディアの味方に = 偽・誤情報の抑止力

ら」は、LINEなどに連絡しながら、疑問や困り事を受け付けます。中国新聞の公式アカウントと友だち登録をすると、記者とオンラインでや

■新聞社の偽・誤情報への取り組み

- ・大量の未加工の鉱石（情報）が流れ込む中で、高い精度を誇る品質検査装置
- ・この装置で、社会が必要とする確かな「金」（真実の情報）だけを選別して提供し続ける
- ・市民のリテラシーを鍛える基盤に

基盤活用の典型が

NIE（教育に新聞を）

教育への新聞活用を学校や地域とともに推進

新聞を読むのが、少し苦手だ」と、苦笑する。テーマを見つけた生徒は、パリコンでDBに「教育」「介護」「難民」などとキーワードを入力。司書の高橋美貴教諭のアドバイスを受けながら、論文執筆の参考資料や理解を深めるための記事を探していく。

東京電力福島第1原発事故から核に关心を持った山根悠太郎さん(15)は、北朝鮮のミサイル発射問題を選んだ。固体燃料使用などの技術向上で脅威がどんどん増しているのか調べたい」と話す。『声』について書くのは、クラリネットを吹く藤井雪(さ



検索・資料集め

新聞情報の高い信頼性が 授業の「教材」に

※希望校はお知らせください

る

を広げる。

開講した。1年生で本が持つ力に触れ、2年生では福山や広島沖縄に視野を広げて平和を学習。最後は論文執筆で知の世界の面白さを体験する。テーマ設定や情報収集、調査など生徒が全て考える。指導する村上ひとみ教諭は、記事DB利用の狙いを「生徒が



教育データベース

「新聞で学ぼう」と題して、6月23日の小中合同教育講演会には、児童・生徒教職員が、保護者、地域の人たち約40人が、山野中に集まりました。タブレット端末を使った学校のDB活用授業の様子を、本社スタッフが動画で紹介。朝刊コラム「天風録」を使った記憶力測定などをテーマ形式で1時間余り、新聞の楽しさを高めています。

大人も



2013年7月4日付中国新聞朝刊

地域ぐるみN-EX始動

福山の山野地図 DB導入機に

進
育「新聞を」活動が地域ぐる
じました。山野小
昨年秋に中国新聞
ベース（PB）を
に元きつかなづ

「新聞で学ぼう」と題した
6月23日の小中合同教育講演会には、児童・生徒、教職員、保護者、地域の人たち約400人、山手中一色まつまつ会を高めています。

丁
六

とひする山野小児塾と本社
スタッフ (山野中)

検索する生徒たち。左端は高橋教諭

の見つけ方をアドバイスする村上教諭

2017年6月26日付中国新聞朝刊

【新聞と教材】
起業家を目指す学生の講座で

